

地域子育てネットワークだより (1) 2005 年 1 月
感染症への一口アドバイス

昨年 11 月から小児救急医療電話相談#8000 がスタートし、連日多数の相談が寄せられています。

最近多いのは下痢・嘔吐に関するお電話です。特に、老人施設でのノロウイルスの集団感染が報道されて以来、一段とその数が増えています。ノロウイルスによる感染はほとんどが経口感染で、主症状は吐き気、下痢、腹痛で、発熱は軽度です。これらの症状が 1～2 日続いた後に治癒します。免疫機能の著しく低下したお年寄りで、今回重症化したようですが、通常は後遺症がないとされています。

冬季に流行する乳幼児の下痢症の原因として、よく知られているのがロタウイルス感染症です。便が白くなるという特徴があります。赤ちゃんは下痢を繰り返すと脱水になりやすいので、十分な水分を与えるようにします。無理に与えすぎると嘔吐・下痢を引き起こしますので、繰り返す嘔吐・下痢には輸液を必要とし、医療機関への受診をお勧めしています。

ちょっとしたアドバイスで、親の育児不安の解決に役立てようというのが、#8000 のねらいです。上手に活用していただければと思います。